の

第２学年　生活（生活安全）　　　　　　　　　　　　　　　　　場所：２年１組教室

公園で安全に遊ぼう

指導者　　吉田　隆之

**１　目標**

・公園で起こる危険について理解し、遊具の正しい使い方が分かり、安全に気を付け楽しく遊べるようにする。

**２　新学習指導要領との関連　【生活】**　内容（４）

公共物や公共施設を利用する活動を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりすることができ、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれらを支えている人々がいることなどが分かるとともに、それらを大切にし、安全に気を付けて正しく利用しようとする。

**３　単元について**

　　本学級の児童が住んでいる地域には公園があり、児童が遊ぶ場の中心となっている。アンケートの結果から放課後や休日に友達や家族と公園へ遊びに行っている児童が大半だが、全く行かない児童もいることが分かった。生活科の町探検では、自分たちの好きな場所に公園を挙げる児童が多かった。公園は、本学級の児童にとって大切な場所である。

消費者庁の「Ｎews Ｒelease平成28年2月10日」によると、遊具による子供の事故は、発生場所が特定されている1070件中、「公園・広場」が661件と最も多い。学区内の公園には、学校にはない遊具がある。そこで、本単元では公園での事故の具体的な映像を通して危険を予測し、回避する方法を考えさせることで、公園で安全に遊べるようにしたい。中学年になると、自分たちで自転車に乗ることができるようになり、行動範囲が広がる。公園で子供同士の遊ぶ機会が増えてくることが予想される。これから新学年になる今の時期にルールを守って遊ぶことの大切さに気付かせ、児童が公園で安全に遊べるようにさせたい。

**４　主題に迫るための手だて**

・生活科の前単元の学習で学区内の公園に行き、遊具に慣れ、楽しさを感じさせる経験をすることで、公園への愛着を深める。

・児童がよく行く公園での遊具で遊んでいる最中の事故の映像や写真を授業で使うことで、より身近な問題と気付かせ児童一人一人の考えを深める。

**５　指導計画　（１時間）**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | ☆ねらい　○学習活動 | ◎安全教育の視点に立った留意点　■評価 |
| １  （本時） | ☆公園で起こる危険について理解し、遊具の正しい使い方が分かり、安全に気を付け楽しく遊べるようにする。  ○公園でけがをした経験やヒヤッとした経験を振り返り、消費者庁の資料を見て、公園内での怪我について考える。  ○公園内でけがをする場面の映像を見て、危険を予測し、危険を回避する方法を考える。 | ◎危険予測の場面として、遊び方のルールを守らなかったことでけがをする場面を取り上げる。  ■危険を予測している。（発言）  ■危険を回避する方法を考えている。（発言） |

**６　本時の展開 （１／１）**

**（１）ねらい**

　・遊具を使っているときにけがをしてしまう危険や周りの人にけがをさせてしまう危険について考える。

　・けがをする危険を避けるための対応策について考え、行動することができる。

**（２）指導の実際**

|  |  |
| --- | --- |
| ○学習活動　・予想される児童の反応 | ◎安全教育の視点に立った留意点  ■評価（評価方法） |
| ○今までに、公園でけがをしたり、しそうになったりした経験を発表する。  ・おにごっこで転んで膝をすりむいたよ。  ○「遊具による子供の事故について」の資料を見て考える。  ・滑り台って事故が多いんだな。  公園であそんでいるときのあんぜんについて考えよう | ◎公園でけがをする危険が身近にあることを考えさせるために、自分たちの経験を話し合う。  ◎日常的に遊んでいる遊具でけがをする場合があることに気付かせるために、事故の発生した遊具をランキング形式で提示する。 |
| ○それぞれの遊具で、どのような危険が起こり得るかを考える。   1. 児童たちが、ルールを守らず身勝手に滑り台で遊んでいる映像を見る。   **危険を予測する**  ・滑るところを上っていったら危険だ。  ・順番を待っているときに友達を押したら危険だ。  **危険を回避する方法を考える**  ・階段から上る。  　・列にならんで待つ。   1. 児童たちが、けがをしそうな遊び方で地球型ジャングルジムに乗っている映像を見る。   **危険を予測する**  ・はやく回すと、人が落ちる。  ・足をのばしながら回ると人に当たって危険だ。  **危険を回避する方法を考える**  ・ゆっくりとジャングルジムは回す。  　・ジャングルジムを回したときに、周りにいる人にぶつからないように乗る。 | ◎起こり得る危険について考え、発表する。  ■遊具に応じた危険について考えることができる。（発表）  ■遊具に応じた危険回避について考えることができる。（発表）  ◎必要に応じて、児童がルールを破って、ぶらんこに乗っている映像を見て危険予測して回避する方法を考える。 |
| ○本時の学習を振り返る。  ・公園では、周りの人に気を付けて遊ぶ。  　・遊具の使い方のルールを守って遊ぶ。 |  |